

雲南省の農村開発： 自然資源，少数民族，および NGOs

手塚 眞

世界資源協会の 2005 年度年報が主張するように、自然・生態系が「貧者の富」である（ありうる）ならば、世界で最も生物多様性に富んだ地域の一つである雲南省は、貧しい人々にとって、まさに可能性に満ち溢れた土地であろう（World Resources Institute, 2005）。しかしながら、現在の目覚ましい経済成長によって、中国における貧困の問題が自ずと解決しうるかといえば、多くの専門家は決してそのようには考えてはいない（World Bank, 2003）。貧富の格差拡大という面から見れば、貧困問題はむしろ深刻さを増しているということもできる。この状況は、中国において最も貧しい省の一つである雲南省においても変わらない（趙俊臣, 2006）。

本稿は、そのような状況下の雲南省農村部開発に関して、特に自然資源管理の直面する諸問題をめぐる政府、現地住民、および NGOs の諸関係に注目しながら、現状と今後の方向性を考えるための準備作業である。

1. 雲南省の「農村」と「貧困」

1) 「農村」

「農村」はポジティブにその社会的・経済的な特性により捉えられるというよりも、しばしば残余のものとして定義される。中国の場合も、基本的に行政単位としての「市」および「鎮」が「都市」とされ、残余は「農村」とされる。都市人口は「城鎮人口」、農村人口は「郷村人口」と呼ばれる。したがって、「農村」地域（rural area）が、必然的に「農業」地域（agricultural area）であるわけではない。網野善彦流に言えば、百姓は農民ではない。

2006 年現在の雲南省は、8つの地級市（昆明市、曲靖市、玉溪市、昭通市、思茅市、保山市、丽江市、临沧市）と8つの自治州（楚雄彝族自治州、红河哈尼族彝族自治州、文山壮族苗族自治州、西双版纳傣族自治州、大理白族自治州、德宏傣族景颇族自治州、怒江傈僳族自治州、迪庆藏族自治州）から構成されている。各地級市・自治州の下には、市轄区、県級市、県、自治県が置かれている。雲南省全体では、12の市轄区、9の県級市、79の県、29の自治

雲南省の農村開発：自然資源、少数民族、および NGOs

県がある（雲南省人民政府 <http://www.yn.gov.cn/>）。

郷および鎮は、これら県級市や県の下に置かれる行政区画であり、鎮は一般に郷よりも人口規模が大きい。雲南省（2004年度数値）の郷鎮数は1,402あり、うち469が鎮である。またその下に位置づけられる村民委員会の数は13,198である（中国統計年鑑2005，農村基層組織状況 <http://www.stats.gov.cn/tjsj/ndsj/2005/indexch.htm>）。

また、中国において行政単位と人口は「戸籍制度」によって強く結び付けられている（張英莉，2004・2005）。1982年から1999年の間、国家統計局による「農村人口」の定義は、都市戸籍を有するもの以外のもの、であった（中華人民共和国国家統計局 <http://www.stats.gov.cn/english/indicators/>）。しかしながら、戸籍制度はその農村住民に対する差別的な性格や、また自由な労働移動を妨げることにともなう経済的な非効率性が、近年厳しく批判されている。現在は、都市戸籍と農村戸籍の統一へ向けての様々な改革が試みられており、これをもって都市・農村人口の区分の基準とすることはますます不適切になってきている。

そのため、国家統計局（1999）は、現実の人口分布の急速な流動化や変化、あるいは都市化の実態を統計的により適切に捉えるために、新たな規定を作成し、2000年以降はこれに基づき都市・農村人口の区分がおこなわれている。

2000年11月1日時点の調査である第5次人口センサスの結果によって雲南省における都市・農村人口の分布をみると、省総人口4235.9万人のうち都市人口は989.6万人（23.36%）、農村人口は3246.3万人（76.64%）であった（国家統計局，普查数据，<http://www.stats.gov.cn/tjsj/pcsj/index.htm>）。

2) 「貧困」

何をもって「貧困」とするかは、「農村」の定義と同様に、一義的に決定することが困難である。しかしどのような基準を用いるにしろ、今日の中国の「貧困」がすぐれて「農村」の問題であることに変わりはない。

中国政府は改革開放政策が始まった後の1985年から貧困人口の調査を行っている。これに基づけば、中国の貧困人口は1980年代に急速に減少し、1990年代には1億人を下回った。ただし、1980年代、1990年代の中国の貧困基準は、衣食が満たされた生存水準（温飽水準）である。基本的には、消費支出に占める食費割合が約85%、必要なカロリー摂取量は2100キロカロリーとして算出される。これを価格で表示すると、1985年は年間一人当たり純収入205元、90年300元、そして99年に625元なる（大原，2001）。

この基準は、世銀などでしばしば用いられる貧困基準、一人一日1米ドルの基準と比べるとかなり低いものである。ただし、いずれの基準を用いても、1980年代半ば以降、中国の貧困人口は急速に減少してきている。2000年以降、中国ではそれまでの「絶対貧困」の基準以外に、「低所得」の基準をもうけ、貧困範疇を拡大している（Asian Development Bank,

2004 ; National Bureau of Statistics, 2004)。

中国における所得状況の急速な改善は、さまざまな面における格差の増大を伴っている。とりわけ、都市と農村の間の所得格差は 1980 年代の後半から拡大してきており、地域間や農村内部での格差も増大傾向にある。このような格差の拡大は、今後の貧困の削減に重大な問題をなげかける。

都市と農村の所得格差に関して言えば、雲南省は全中国で、チベットについて二番目に格差の大きな省である。2004 年の年間一人当たり所得を比較すると、都市の所得は農村の 4.5 倍を超えている (趙俊臣, 2006 ; Heiling et al. 2005)。

中国では、1980 年代半ばから貧困対策のための基本単位として、全国的に「貧困県」を指定し、重点的に対策をとってきている。対象となる県の規準は、第七次五カ年計画 (七五計画, 1986 年) 以降、何度か改定されてきているが、八七扶貧攻堅計画 (1993 年) で設定された 592 の県が、極わずかなの変更で 2001 年以降も貧困県として再指定されている。

貧困県を省別に見ると、雲南省が最も多く、74 県である。雲南省では、国の指定する 74 県のほかに、4 県を省指定の貧困県としている (雲南扶貧弁, <http://www.ynfp.cn/>, また, 表 1, および図 1 を参照)。

貧困の問題が、県単位の対策で有効に対処しうるかという点に関しては、多くの批判があり、2000 年以降の扶貧対策の一つの特色は、県以下の単位に重点を移動させてきていることである。雲南省では全省で 4,000 の重点扶持貧困村を指定して、より有効な貧困削減を実現しようとしている。

雲南省における貧困県の分布を見て明らかなのは、一部のわずかな都市周辺を除く、省の大部分が貧困地域であること、またその多くが険しい山岳地域であるということ、である。そして、「山あれば、森あり；森あれば、少数民族あり」といわれるように、これらの地域は森林と少数民族の世界である。

2. 雲南省のコミュニティー林業と NGOs

1) 雲南省と NGOs の活動

China Development Brief の名簿 (<http://www.chinadevelopmentbrief.com/dingo/>) によれば、現在、中国で活動している主要な国際 NGOs は 200 以上ある。活動地域別で見ると、最も多くの NGOs (46 団体) が活動している省は雲南省である (北京市は第二位で 39 団体。全国的な活動をしている団体は 41 団体)。活動分野別に見ると、環境分野が最も多く、46 団体あり、その次が農村・コミュニティ開発の 44 団体である。

中国における活動の最も長い国際 NGOs の一つは、Ford Foundation (= FF, 福特基金) である。FF は雲南省においても極めて大きな足跡をのこしている。1990 年代の FF の雲南省

表1 雲南省の行政区分と「貧困県」（下線のついた県名）

地級市	区、県、および県級市	
昆明市 Kunming http://www.kmzg.gov.cn/	五华区 盘龙区 官渡区 西山区 东川区 呈贡县 晋宁县 富民县 宜良县 石林彝族自治县 嵩明县 禄劝彝族苗族自治县 寻甸回族彝族自治县 安宁市	Wuhua Panlong Guandu Xishan <u>Dongchuan</u> Chenggong Jinning Fumin Yiliang Shilin Songming <u>Luquan</u> <u>Xundian</u> Anning
曲靖市 Quijing http://www.qj.gov.cn/	麒麟区 马龙县 陆良县 师宗县 罗平县 富源县 会泽县 沾益县 宣威市	Qilin Malong Luliang Shizong Luoping Fuyuan <u>Huize</u> Zhanyi Xuanwei
玉溪市 Yuxi http://www.yuxi.gov.cn/	红塔区 江川县 澄江县 通海县 华宁县 易门县 峨山彝族自治县 新平彝族傣族自治县 元江哈尼族彝族傣族自治县	Hongta Jiangchuan Chengjiang Tonghai Huaning Yimen Eshan Xinping Yuanjiang
保山市 Baoshan http://www.baoshan.cn/	隆阳区 施甸县 <u>腾冲县</u> 龙陵县 <u>昌宁县</u>	Longyang <u>Shidian</u> <u>Tengchong</u> <u>Longling</u> <u>Changning</u>
昭通市 Zhaotong http://www.zhaotong.gov.cn/	昭阳区 鲁甸县 巧家县 盐津县 大关县 永善县 绥江县 镇雄县 彝良县 威信县 水富县	<u>Zhaoyang</u> <u>Ludian</u> <u>Qiaojia</u> <u>Yanjin</u> <u>Daguan</u> <u>Yongshan</u> <u>Suijiang</u> <u>Zhenxiong</u> <u>Yiliang</u> <u>Weixin</u> Shuifu
丽江市 Lijiang http://www.lijiang.gov.cn/	古城区 玉龙纳西族自治县 永胜县 华坪县 宁蒗彝族自治县	Gucheng Yulong <u>Yongsheng</u> Huaping <u>Ninglang</u>
思茅市 Simao http://www.simao.gov.cn/	翠云区 普洱哈尼族彝族自治县 墨江哈尼族自治县 景东彝族自治县 景谷傣族彝族自治县 镇源彝族哈尼族拉祜族自治县 江城哈尼族彝族自治县 孟连傣族拉祜族佤族自治县 澜沧拉祜族自治县 西盟佤族自治县	Cuiyun <u>Puer</u> <u>Mojiang</u> <u>Jingdong</u> Jinggu <u>Zhenyuan</u> <u>Jiangcheng</u> <u>Menglian</u> <u>Lancang</u> <u>Ximeng</u>
临沧市	临翔区	<u>Linxiang</u>

Lincang http://www.lincang.gov.cn/	凤庆县 云县 永德县 镇康县 双江拉祜族佤族布朗族傣族自治县 耿马傣族佤族自治县 沧源县	Fengqing Yun Yongde Zhenkang Shuangjiang Gengma Canyuan
楚雄彝族自治州 Chuxiong http://www.cx.yn.cninfo.net/	楚雄市 双柏县 牟定县 南华县 姚安县 大姚县 永仁县 元谋县 武定县 禄丰县	Chuxiong Shuangbai Mouding Nanhua Yaoran Dayao Yongren Yuanmou Wuding Lufeng
红河哈尼族彝族自治州 Honghe http://www.hh.gov.cn/	个旧市 开远市 蒙自县 屏边苗族自治县 建水县 石屏县 弥勒县 泸西县 元阳县 红河县 金平苗族瑶族傣族自治县 绿春县 河口瑶族自治县	Gejiu Kaiyuan Mengzi Pingbian Jianshui Shiping Mile Luxi Yuanyang Honghe Jinping Luchun Hekou
文山壮族苗族自治州 Wenshan http://www.ynws.gov.cn/	文山县 砚山县 西畴县 麻栗坡县 马关县 邱北县 广南县 富宁县	Wenshan Yanshan Xichou Malipo Makuan Qiubei Guangnan Funing
西双版纳傣族自治州 Xishuangbanna http://www.xsbn.gov.cn/	景洪市 勐海县 勐腊县	Jinghong Menghai Mengla
大理白族自治州 Dali http://www.dali.gov.cn/	大理市 漾濞彝族自治县 祥云县 宾川县 弥渡县 南涧彝族自治县 巍山彝族回族自治县 永平县 云龙县 洱源县 剑川县 鹤庆县	Dali Yang Xiangyun Binchuan Midu Nanjian Weishan Yongping Yunlong Eryuan Jianchuan Heqing
德宏傣族景颇族自治州 Dehong http://www.dh.gov.cn/	瑞丽市 潞西县 梁河县 盈江县 陇川县	Ruili Luxi Lianghe Yingjiang Longchuan
怒江傈僳族自治州 Nujiang http://www.nj.yn.gov.cn/	泸水市 福贡县 贡山独龙族怒族自治县 兰坪白族普米族自治县	Lushui Fugong Gongshan Lanping
迪庆藏族自治州 Diqing http://www.yndq.gov.cn/	香格里拉县 德钦县 维西傈僳族自治县	Xianggelila Deqin Weixi

出所：云南扶贫办 <http://www.ynfp.cn/>

注：下線のついた県名は国の指定した貧困県。ただし、イタリックは省が指定したもの。

図1 雲南省の「貧困県」



出所) Xu Jianchu, 2002 : 16.

における活動 (Yunnan Upland Management Project) は、単なる資金提供にとどまらず、雲南省の森林当局に対し、コミュニティーに基礎を置いた森林資源保全・管理手法の必要性を主張し、国際 NGO (Winrock International) の専門家を雲南省に招致し、現地の研究者や保全実務家たちの訓練と組織化を支援した。この結果誕生したのが、Yunnan Rural Participatory Approach (RPA) Network であった (Lu Xing, 2000; Kitamura and Cao, 2003)。

また、雲南省政府関係者の幾人かは、FF の支援により、フィリピン、タイ、そして米国に留学し、学位を得た経歴を有している。これらの人材は、現在も政府の内外で、雲南省の環境あるいは農村開発の分野において指導的な役割をはたしている。例えば有力な現地 NGOs である Center for Biodiversity and Indigenous Knowledge (CBIK, 雲南省生物多样性和传统知识研究会) の創設者 Xu Jianchu (许建初, 中国科学院昆明植物研究所教授でもある) と Center for Community Development Studies (CDS, 云南社区发展研究中心) の創設者 Zhao Yaqiao (赵鸭桥, 云南社会科学院のメンバーでもある) はそのような経歴の人物である (Wu Fengshi, 2005 : 157)。

FF により先鞭を付けられた、雲南省のコミュニティーに基礎を置いた森林資源保全は、その後も省政府やいくつかの現地 NGOs によって引き継がれており、様々な実践とケーススタディーの報告がなされている (Cao, 1998; Lai, 1999; Sturgeon, 2000 ; Su, 2003 ; Chen, Huang, and Zhu, 2003)。

しかしながら、雲南省においては、政府と NGOs との間で、「コミュニティー林業 (com-

munity forestry, 中国語では社区林業)」に関して微妙な見解の相違が存在するようである。政府関係者は政府が現に実施している「社会林業 (social forestry)」と「コミュニティ林業」は同義語であると見なすか、あるいは「コミュニティ林業」を全面的に否定する。これに対し、学者や NGOs 関係者は、一般に、政府が実施する「社会林業」とは極めて異なったものとして「コミュニティ林業」を考えている (Colchester, 2002 : 7-8)。

中国の NGOs の現状と一般的性格に関しては、すでに様々な議論がなされており、その中の一つの見解は、政府との直接的な対立を回避する傾向である (Ho, 2001 ; Zhang, 2003)。確かに、全体としてみれば、雲南省の森林・林業分野においても NGOs は政府との協調関係を維持しながら活動していることは確かである。しかし、ある場合には、NGOs (国際および国内の) が、政府の森林・林業政策に対して有効な批判と影響力を行使しえたと思われる事例も存在する。以下では、中国政府の天然林保護および退耕還林政策の実施と、その現地住民の生計に対する影響に関して、NGOs のとった一連の対応を検討してみる。

2) 天然林保護および退耕還林と NGOs

(天然林保護および退耕還林)

改革・開放期以降の中国の森林・林業政策改革は、基本的に、農業・農地政策において多大の効果があつた生産責任制を、非農地に拡大する方向でなされた。農地が「自留地」および「責任地」として各農家に配分、あるいは契約により請け負わされたように、集団所有林が「自留山」および「責任山」として各農家に配分・請け負われ、その使用権が認められた。

しかしながら、一般に、非農地の生産責任制は農地の場合のように、積極的な投資の増大や生産の拡大には結びつかなかつた。それは森林の土地境界や権利義務関係が不明確であり、さらに投資に対する収益の確保のために、農地などよりも遥かに長い期間が必要であることなどが要因であつたと考えられる (Xu and Ribot, 2004 : 160)。その結果、政府の思惑とは異なり、ところによっては森林資源がむしろ荒廃する場合も見られた。

1990 年代の終わりのいくつかの大規模な自然災害が、中国の森林政策に大きな影響を与えた。1997 年の黄河下流域の長期にわたる断流現象や、1998 年の 3000 人の死者を出したといわれる長江の大洪水の背景に、人為的要因による流域の生態系破壊や森林の減少があると多くの科学者は考えていた (Zhang et al, 2000 : 2135-2136)

これに対して、中国政府は、従来の「(中央政府による中央からの) 非中央集権化」の流れとはむしろ逆行する大胆な政策を採用した。1998 年には「天然林保護計画」を実施した。さらに、1999 年からは四川、甘肅、陝西において「退耕還林」のモデル活動が開始され、やがて黄河・長江の流域諸省に拡大された。

中央政府が地方の森林に直接的な介入の姿勢を強めた一つの要因は、黄河・長江の中上流域には少数民族による一定の自治が認められた自治州や自治県が多く含まれていたことである (Lang, 2002)。実際、1984 年の森林法においても、一定の自治は明示的されていた。さらに、経済開発面において近年、中央政府は一般により大きな権限を地方に与える傾向にあったから、1990 年代の終わりに森林・環境問題に関して危機的な状況にあると認識した中国政府は、より直接的な介入の必要に迫られたということができよう。

天然林保護計画の表明された目的は、天然林資源の保護や生態環境の改善を図ることで、持続的な発展を可能にすることである。同計画の三つの主要な柱からなっている。すなわち、①主要地域における自然林の伐採の禁止とその他の地域における伐採量の削減；②特定地域における造林および封山育林；そして③国营林職員に対する転職や経済的な支援、である。

1998 年から 2000 年の間は試行期間と位置づけられ、2000 年から 2010 年が本格的な計画実施期間である。具体的な目標としては、1997 年から 2003 年の間に、自然林における 1990 万立方メートルの伐採量削減を行う；長江上流、黄河中上流、そして内モンゴル、東北部中国等の自然林、4180 万ヘクタールを保全する；2000 年から 2005 年の間に長江上流、黄河中上流に 2130 万ヘクタールの造林を行う (Yang, 2001)。

2000 年から 10 年間の全体計画では、968 億元の投資が予定されており、その資金のほとんど (789 億元) は中央政府による投入であった。また、その過半が国有林部門の人件費にかかわる補償であることから明らかなように、同計画の中心的な課題は、(森林資源・生態の保全や改善と同時に) 様々な問題をかかえる森林部門の国有企業改革であった。

しかしながら、実施段階では、自然林の伐採禁止が、単に国有部門にとどまらず非国有林 (集団所有林) にまで、(省のイニチアチブで) いささか無原則的に拡大されていった (Zuo Ting, 2002)。このことは、集団所有林が全森林の 8 割以上を占める雲南省の場合は、後述するように、特に深刻な問題を引き起こした (Miao and West, 2004)。

退耕還林は、天然林保護計画の翌年の 1999 年に導入された。生態環境の回復・保護といった目的においては共通するが、天然林保護計画が、基本的には国有森林部門を従来の木材生産部門から森林管理部門に移行させる計画であるのに対し、退耕還林は、私的な農地に対する政府の支払い計画である。計画への参加は基本的に自主的な、任意のものであるとされ、土壌が流失しやすい傾斜面の耕地を林地あるいは草地に転換する場合、現物の食糧や現金の給付がおこなわれた (英語では Sloping Land Conversion Program, Conversion of Cropland to Forest and Grassland Program, あるいは Grain for Green などと呼ばれる)。

退耕還林は、その実施が、天然林保護計画よりもはるかに複雑で、多くの行政部門間の調整を必要とするものであった。また、その保全事業としての規模の大きさ (世界最大の保全計画と言われる) から、その経済的効果や改善の余地に関して様々な研究が行われている (Uchida, Xu, and Rozelle, 2004; Yin, Xu, Li, and Liu, 2005; Xie et al, 2005; Wang and Bennett, 2006)

(雲南省における諸影響と NGOs)

「山野河海」は、とりわけ貧しい人々にとって、生計のための大きな緩衝地として機能している。日本の古記録を見ても、藩政府は凶作時にしばしば藩有林などへの細民の出入りを認めている。硬直した「自然保護」は、したがって、そのような貧しい人々の生計の「セーフティーネット」を奪いかねない。

前述したように、雲南省においては 1990 年代からすでに、国際・国内 NGOs によりコミュニティに基礎を置いた森林資源保全の促進のために様々な活動が行われていた。コミュニティ林業は森林資源の持続可能な利用を追及するものであり、伐採禁止はむしろそれまでコミュニティが行ってきた努力や投資を否定するものであった。したがって、1990 年代の終わりに、政府が一方的に発表した一連の森林政策に対して、雲南の環境や農村開発にかかわるいくつかの NGOs は異議の申し立てをおこなった。

政府の政策は、その表明された目的に関する限り、なんら異を唱えるべきものではなかった。しかしながら、計画によりもたらされる利益は、当然費用をとまなっている。費用は政府が負担する財政的な負担にとどまらず、現地の人々が背負わなければならない様々な負担も含まれる。国有林に比べて、集団所有林の割合が極めて高い雲南省では、結局、費用の多くを集団所有林の所有者、すなわち、山岳地域を生計の基盤とする人々が背負うことになった。

雲南省において自然林の伐採が禁じられたのは、図 2 に示す各県におよんでいる。また、退耕還林の実施された地域は図 3 にしめすとおりである。また、省政府における天然林保護・退耕還林両計画の行政的執行にかかわる様々な情報を CBIK が取りまとめている (Center for Biodiversity and Indigenous Knowledge, 2002 : 65-80)。

天然林保護や退耕還林の、雲南省のコミュニティレベルでの影響に直接、あるいは間接的にかかわる調査・研究がいくつかの NGOs などによってなされている (Winkler, 1999, Luo, Xu, and Pei, 2000 ; Zuo, Chen, Wang, and Song, 2000 ; Xu and Zuo, 2003 ; Zhu, 2003 ; Chan, 2003 ; Weyerhaeuser, Wilkes, and Kahrl, 2005)。特に雲南省西北部 (滇西北) は長江上流域の自然林伐採禁止区域に含まれるばかりでなく、次章でふれるように、現在は世界自然遺産に指定されている「三江併流 (長江上流部の金沙江, メコン川上流部の瀾滄江, サルウィン川上流部の怒江の三江が東西 110 キロメートルの幅で、南北に併流する)」地域である。同地域は、Critical Ecosystem Partnership Fund (CEPF, 关键生态系统合作基金) が指定する世界の 13 の「生物多様性ホットスポット」の一つ、「南西中国山岳部」の重要な一部を形成している。このため、雲南省西北部に関する研究が多い。なお、雲南省やその他の省におけるコミュニティレベルでの社会経済的影響に関する諸研究は、後述する中国環境開発国際協力委員会の報告書においても要約されている (Katsigris, 2002)。

図2 雲南省の自然林伐採禁止地域



図3 雲南省の退耕還林実施地域



出所) Xu Jianchu, 2002 : 12.

CBIK の Xu Jianchu は、自然林伐採禁止や退耕還林政策が山岳部の少数民族の生計に与える否定的な影響について一連の調査・研究をおこない、その政策の改善の必要を強く主張し続けた。彼の研究によれば、雲南省の長江上流域の生態や森林の破壊は、それが存在するとしても、その原因は主として国有林経営である。例えば、雲南省西北部の徳欽県 (Deqin) の国有林の木材生産量が 1980 年代の前半にピークに達して、その後は減少していたことを指摘している (Xu and Ribot, 2004 : 161-162)。国有林の従業員は伐採禁止にともない、不十分とは言え一定の経済的補償が与えられている。それに対し、集団所有林は、多くの場合、伝統的な慣習にもとづく持続可能な利用が行われていたにもかかわらず、伐採禁止にともない何の補償も与えられない。

また、退耕還林に関しても、その実際の計画実施過程の調査にもとづき、幾つもの非合理や、同じ集落内においても異なる利害が存在しうることを明らかにしている (Qian and Xu, 2004)。結果として主張されるのは、外部からの一方的で一律の政策の適用に対抗しうる、コミュニティの参加の促進と発言力の強化の必要性である。

もともとコミュニティ林業にあっては、森林は単なる木材生産の場ではなく、多面的な機能を有するものとして捉えられている。したがって、伐採禁止以降、非木材林産物 (NTFP, nontimber forest products) に関する研究が一層強調されているようにおもわれる。とりわけ、マツタケに関しては、その経済規模の大きさからも、様々な興味深い調査がおこなわれている (Solenne and Wei, 2005; He Jun, 2003; Yeh, 2000)。観光開発もまた、森林 (そして自然) の多面的な機能を利用した経済開発として捉えることができる。

CBIK と同様に、CDS の Zhao Yaqiao (2004) も、伐採禁止には反対であり、「持続可能な

林業」こそが必要であると主張していた。

さらに、中国の森林政策は単に国内的な問題には留まらなかった。なぜならば、伐採禁止以降の中国国内木材生産の縮小は、結局は、木材の輸入の急激な増大をもたらし、そのかなりの部分はミャンマーなどで不法に伐採された木材の輸入でまかなわれることになったからである (Global Witness, 2005 ; White et al, 2006)。このことは、ある意味では、中国における天然林保護政策が実効性のあるものであったことを示してはいるが、中国の森林資源を守ることを意図した政策が、政治的・経済的により弱体な近隣諸国の資源の破壊を前提にはじめて成り立つのならば、その政策自体の再検討が必要とされるであろう。

(北京における動き)

雲南省の NGOs の主張や活動も、それ自体としては中央政府の政策に対して有効な影響を与えることはできなかったかもしれない。しかしながら、雲南の NGOs は様々な国際的ネットワークの中に存在している。国際・国内 NGOs の関心や主張が、ハイレベルの中国政府の関係者に直接とどく可能性のある場の一つは、China Council for International Cooperation on Environment and Development (CCICED, 中国環境開発国際協力委員会) であった。CCICED は、1992 年に中国政府の承認の下に設立された上級諮問機関で、委員長は中華人民共和国国務院のメンバーがつとめる。委員会のメンバーには、国務院の関係各省次官、国内外の専門家に加え、諸外国の閣僚経験者や国際機関の指導者も含まれる (2006 年現在のメンバーは、<http://www.harbour.sfu.ca/dlam/councilmembers.html>)。その任務は、中国の環境・開発分野における課題について中国と国際コミュニティーの協力と交流を促進することである。国外メンバーは、国や機関の代表としてではなく、特定分野の専門家として選ばれていた。また、委員会は設立の当初から、財政的にも人材的にもカナダ政府の大きな貢献に支えられてきた (Drake, 1997)。

委員会はいくつかの作業部会を設けており、森林政策にかかわったのは 2000 年 7 月に設置された Western China Forests and Grasslands Task Force であった。同作業部会は中国工程院 (Chinese Academy of Engineering) の Shen Guofeng 教授と世銀の Uma Lele 博士により率いられ、中国から 6 名、国際側から 6 名の学際的な専門家チームであった。国際専門家の中には、Centre for International Forestry Research (CIFOR) や WWF-International といった著名な国際 NGOs の専門家が含まれていた (メンバーの名簿は、<http://www.harbour.sfu.ca/dlam/WorkingGroups/Forestry/member.html>)。

最終的な報告書は 2002 年に完成した。編者は、中国科学院農業政策研究中心の Xu Jintao (徐晋涛), 「コンサルタント」の Eugenia Katsigris (現在は、Forest Trends), そして国際 NGO の Forest Trends の Thomas A. White であった (Xu, Katsigris, and White, 2002)。あわせて、7 つの省における 8 点のケーススタディーも報告されている。雲南省のケーススタデ

雲南省の農村開発：自然資源、少数民族、および NGOs

イーは雲南省社会科学院の Zhao Junchen (2001) により書かれた。

報告書の主要な点は、中国政府の森林政策の転換、すなわち木材生産中心から森林生態系維持重視への転換を賞賛すると同時に、森林資源に依存して生活する人々の雇用、所得、生計に与える複雑で否定的な影響も明確に指摘している。また、天然林保護と退耕還林の改善に関しても具体的な提言をおこなっており、その第一に挙げている点は、集団所有林における伐採禁止の撤回であった (Xu and White, 2002 : 65)。

森林草地作業部会の一連の調査等を財政的に支援した主要な団体は、フォード財団と世銀であった。世銀事業評価部 (World Bank Operations Evaluation Department, 2005) のケーススタディーは、CCIED が同作業部会を立ち上げることになったきっかけが、世銀事業評価部による中国森林部門の評価報告書 (Rozelle et al, 2000) であったと述べている。

なお、2000年8月の北京駐在米国大使館からの報告記事 (Anonymous, 2000) は、雲南省の麗江と昭通における天保工程 (天然林保護計画) と退耕還林の実施状況視察に関するものであり、同計画が現地の貧しい住民に負担を強いるものとなっていると指摘している。

3. 雲南省の流域管理と NGOs

森林政策をめぐる政府、雲南省山岳部の住民、そして NGOs の間の様々な動きは、前章で見てきたように、雲南省にとどまらず、中央政府や国際的な組織をも含めたより広い文脈の中におくことで、より明確に捉えることができる。以下で触れる雲南省の「流域管理 (watersheds management)」の問題も、基本的には森林政策と同様な視点から捉えることが有効であると考えられる。ただし、具体的事例とする二つの問題、すなわち、三江併流地域の問題と怒江開発の問題が、森林問題とかなり異なった点は、中国の国内、国外のマスコミ等で広く報道されたことである。また、怒江開発の問題は、大衆動員的な政治運動としての一面も持っていたということが出来る。

(三江併流)

三江併流地域に国際 NGOs が本格的にかかわるきっかけは、それ自体、ちょっとこの世離れたものである。バンコクの成功した不動産開発業者である Vickrom Kromadit は、東南アジアの新富裕層のためのスキー・リゾート地の開発をしようと、1993年に、雲南省麗江市 (中心部の古城地区が1997年、ユネスコの「世界文化遺産」に登録されている) の北、玉龍雪山にやってきた。Kromadit は米国コロラドのリゾート開発コンサルタントの Steve Mikol に可能性を検討させた。スキーリゾートとしての可能性は結局無いことがわかったが、玉龍雪山付近の美しさに圧倒された Mikol はここに国立公園を作ることを提案した。彼は長年の The Nature Conservancy の会員であった。Kromadit は「(米国ドルで) 6桁の」寄付を申し

出た。The Nature Conservancy (= TNC, 美国大自然保護協会) は、この提案を受け入れ、1997 年 11 月には、中国政府高官と TNC のアドバイザー (ゴールドマン・サックスの重役で TNC アジア太平洋委員会共同議長でもある Hank Paulsen が含まれていた) が会談した。翌年には雲南省昆明に TNC 事務所が開設された。最初の現地責任者は、Ron Geatz であった (Litzinger, 2004 ; Geatz)。

TNC は雲南省政府との密接な協力の下に、「雲南大河計画 (Yunnan Great Rivers Project)」を立ち上げる。計画の目的は、「保全と経済的目標を統合することで、雲南省西北部の生物学的・文化的な多様性を維持するとともに、住民の長期的な経済的福利を増進する」ことであった。計画は極めて大規模なもので、1999 年からの 3 年間に、雲南省政府は 300 万米国ドル、TNC は 200 万米国ドルを支出することが約束されていた (Norton, 2000)。中国側と TNC との間で、必ずしも十分な相互理解がはじめから存在していたわけではないが (雲南省政府の公式見解としては、「雲南大河計画」を最初に企画したのは省政府であり、その助言のために TNC が招聘されたことになっている)、2001 年には、同計画は省の第 10 期 5 カ年計画の一部に取り入れられている (Ou, 2003)。省政府とのこのような密接な協調関係は、TNC の中国における活動の一つの大きな特徴となっている。

ただし、雲南省における TNC の大規模なプロジェクトは、(FF の場合とは異なり) 現地の NGOs や保全専門家から少なからぬ批判も受けたようである。理由の一部は TNC の経済的厚遇や名声が地域的な「頭脳流出」を引き起こし、既存の NGOs との対抗関係が強まったことにあったが、その省政府との密接な関係が、一部の知識人や専門家により批判されるという面もあった (Wu, 2005 : 173)。いずれにしろ、巨大な資金力や人材を有する国際 NGOs と現地実務家や活動家との関係は、TNC の場合に限らず、しばしば緊張関係をともなうようである。

雲南省西北部の「三江併流」地域は、2003 年、ユネスコの世界自然遺産に登録された。かつては少数の「(外国人や香港からの) 冒険旅行者」の目的地であった「三江併流」地域は、昨今では全国的 (全中国的) に知られた観光地となった。そして、1994 年には 15,000 人であった雲南省への旅行者は、2005 年には実に 2,650,000 人に急増している (Skipington, 2006)。「保全と経済的目標を統合することで、雲南省西北部の生物学的・文化的な多様性を維持するとともに、住民の長期的な経済的福利を増進する」という TNC の課題は、今後ますます困難な局面に向かうのかもしれない。

(怒江開発)

怒江開発をめぐる一連の運動は、中国の NGOs がかかわった中で、最も目立った advocacy campaign の一つであり、また最も議論の多い運動でもあった。この事例は、三峡ダム開発以降の中国の NGOs の、そして中国社会全体の、開発と環境をめぐる思想状況の変化と、今後

雲南省の農村開発：自然資源、少数民族、および NGOs

の動向を考える上で重要なものとなるであろう。しかしながら以下では、いかなる解釈も加えず、単に運動の経緯のみをたどることにする。

三江併流が世界遺産に登録された後、雲南省政府は怒江に 13 のダムを建設する計画を発表した。そのうちのいくつかは保護区域内に建設されるものであった。予定されるダムの総発電能力は三峡ダムの倍以上であった。国家環境保護局（State Environmental Protection Administration）は、同計画に対して大きな懸念があるとして消極的な姿勢でのぞんだが、雲南省政府は独自の専門家委員会を組織し、批判には根拠が無いとして計画を推し進めた。省政府は地元のメディアを積極的に利用した（Busgen, 2006 : 21）。

この動きに対して、表立って抗議行動をおこしたのは、北京と雲南の NGOs であった。政府部内、特に環境担当部局の一部、そして科学者やメディアの一部がこの動きに同調した。メディアを動員する上で中心的な役割を果たしたのは、ジャーナリストで北京の NGO、Green Earth Volunteers（緑家园志愿者）の創設メンバーである Wang Yongchen（汪永晨）であった。雲南では、雲南大学の He Daming（何大明）教授が科学者として反対の立場を明らかにしていた。ただし、より急進的な運動を展開したのは、Green Watershed（云南大众流域管理研究推广中心）の Yu Xiaogang（于晓刚）であった。国際 NGOs のいくつか（Oxfam-Hongkong や Conservation International）は小額の資金援助をおこない、また IRN（International Rivers Network）は世界的な反ダム運動の一環として情報面で支援を行ったが、それ以外では本格的な国際的な協調行動は見られなかった（Busgen, 2006 : 23）。

2004 年 4 月に、温家宝首相がダム計画の一時停止を発表したとき、運動は予想外の成果を上げたかに見えた。しかしながら、その勝利は長続きせず、2005 年 8 月に国家環境保護局が改定された環境影響評価報告に同意したことにより、計画は再び動き出した（Busgen, 2006 : 22）。

Green Watershed の Yu は、怒江流域の住民を組織して教育活動を行ったり、北京の国際会議に参加させたりしたことで、雲南省政府の不興を買い、同組織は取調べを受け、2005 年 12 月には Yu の海外渡航が差し止められた（Busgen, 2006 : 41 ; Lu, 2005 : 3）。2005 年 12 月 26 日に、ニューヨークタイムスが怒江ダム開発に関する長い記事を掲載した。当然、この中には Yu の発言も引用されている（<http://www.nytimes.com/2005/12/26/international/asia/26china.html>）。

2006 年 4 月 24 日、サンフランシスコで、国際的に名誉のあるゴールドマン環境賞が Yu に授与された。同時に受賞した 6 名の受賞者とともに、125,000 ドルの賞金が与えられた（IRN ウェブサイト、<http://www.irm.org/index.php>）。

その後も、怒江の状況は緊迫したままのようである。ドイツの DPA 通信によると、2006 年 7 月 5 日、怒江ダム建設をめぐる立ち退きを余儀なくされた住民を取材していたツァイトの Georg Blume 記者が非合法的な取材をしたという理由で警察に拘束された

(http://news.monstersandcritics.com/asiapacific/printer_1178395.php, および <http://www.epochtimes.jp/jp/2006/07/html/d50588.html>)。また、三峡ダムの建設をめぐる人権抗争の代表者、Fu Xiancai (付先財) が 2006 年 6 月 8 日に北京で公安当局の取調べを受けた後、何者かに襲われ重体となった。当局の捜査によると、現場に襲撃の証拠は残っておらず、氏が自らに暴行を加えた可能性があるということである。氏は 5 月にドイツのテレビ局の取材を受け、三峡ダムの現地住民の補償金問題について論じていた (<http://www.epochtimes.jp/jp/2006/06/html/d41266.html>, および <http://news.bbc.co.uk/2/hi/asia-pacific/5219890.stm>)。日本の NGO では、メコン・ウォッチが怒江ダム開発に関して、継続的に情報を提供している (<http://www.mekongwatch.org/env/yunnan/nujiang/index.html>)。

附記：本稿は、2005 年度東京経済大学共同研究助成費による成果の一部である。

参 考 文 献

- Anonymous. 2000. "Trees v.s. People? - PRC Natural Forest Protection. An August 2000 report from U.S. Embassy Beijing."
<http://www.usembassy-china.org.cn/sandt/yunnan-forest-one.htm>
- Asian Development Bank. 2004. *Poverty Profile of the People's Republic of China*. Asian Development Bank.
- Busgen, Michael. 2006. *NGOs and the Search for Chinese Civil Society: Environmental Non-Governmental Organizations in the Nujiang Campaign*. Working Paper Series No. 422, The Hague : Institute of Social Studies.
- Cao, Guangxia. 1998. "Indications from Community Forestry Cases in Yunnan , China ." In *Community Forestry at a Crossroads: Reflections and Future Directions in the Development of Community Forestry, Proceedings of an International Seminar . RECOFTC Report No. 16*, edited by Victor, M., C. Lang and Jeff Bornemeier, Bangkok: The Regional Community Forestry Training Center for Asia and the Pacific.
- Center for Biodiversity and Indigenous Knowledge. 2002. *Policy Review and Institutional Capacity Analysis on Environmental Protection and Poverty Alleviation, prepared for the Yunnan Environmental Development Program (DFID)*. Centre for Biodiversity and Indigenous Knowledge, Kunming.
http://www.cbik.org/cbik-en/cbik/our_work/download/PRICA-Report.pdf
- Chan, Yu Nam. 2002. *Livestock and Rangeland Management in Shangri-La Gorge, Shangri-La County, Northwest Yunnan, China*. Master's thesis, Lund Univesrsity, Lund, Sweden.
- Chen, Bo, Huang He, and Zhu Heshuang. 2003. *Indigenous Knowledge of Forest Management in Northwest Yunnan*. SYLFF Working Papers Number 20, March 2003
- Colchester, Marcus. 2002. *Community Forestry in Yunnan (China): the Challenge for Networks*. Center for International Forestry Research, Bogor, Indonesia.

- Drake, Earl. 1997. "A Report on the China Council for International Cooperation on Environment and Development." *China Environment Series 1* : 27-32.
- Geatz, Ron. n.d. "Great Rivers of Yunnan : Conservation in a Changing China."
<http://www.tew.org/visitors/visit.yunnan.html>
- Global Witness. 2005. *A Choice for China: Ending the destruction of Burma's northern frontier forests.*
- He, Jun. 2003. "Cross-Scale Institutional Linkages of Commercial Matsutake Mushroom Management and Marketing : A Preliminary Study of an NTFP in Zhondian County, Yunnan, China." In *Landscapes of Diversity: Indigenous Knowledge, Sustainable Livelihoods and Resource Governance in Montane Mainland Southeast Asia. Proceedings of the III Symposium on MMSEA 25 · 8 August 2002, Lijiang, P.R. China*, edited by Xu Jianchu and Stephen Mikesell, pp.193-197. Kunming : Yunnan Science and Technology Press.
- Heiling, Gerhard K., Ming Zhang, Hualou Long, Xiubin Li, Xiuqin Wu. 2005. "Poverty Alleviation in China : A Lesson for the Developing World?" Presented at the International Conference on the West Development and Sustainable Development, August 2-4, 2005, Urumqi, China.
- Ho, Peter. 2001. "Greening Without Conflict? Environmentalism, NGOs and Civil Society in China." *Development and Change* 32 : 893-921.
- Katsigris, Eugenia. 2002. "Local Level Socioeconomic Impacts of the Natural Forest Protection Program." In *Implementing the Natural Forest Protection Program and the Sloping Land Conversion Program: Lessons and Policy Recommendations*, edited by Xu Jintao, E. Katsigris, and T. A. White. CCICED, Beijing, China.
- Kitamura, Kenji and Guangxia Cao. 2003. "Community Forestry in Yunnan Province." *China Environment Series 6* : 116-19.
- Lai, Qingkui. 1999. *Cases On the Integrated Mountain Development of Yunnan*. Department of Forestry, SWFU, China.
<http://www.mtnforum.org/resources/library/laiq99a.htm> .
- Lang, Graeme. 2002. *Deforestation, Floods, and State Reactions in China and Thailand*, working paper series No. 21. City University of Hongkong.
- Lele, Uma J. and Shen Guofang. 2002. "Introduction." In *Implementing the Natural Forest Protection Program and the Sloping Land Conversion Program : Lessons and Policy Recommendations*, edited by Xu Jintao, E. Katsigris, and T. A. White. CCICED, Beijing, China.
- Litzinger, Ralph. 2004. "The Mobilization of 'Nature' : Perspectives from North-west Yunnan." In *China's Campaign to "Open Up the West: National, Provincial, and Local Perspectives, The China Quarterly Special Issues, New Series, No. 5*, edited by David S. G. Goodman, pp.174-190. Cambridge : Cambridge University Press.
- Lu, Xing. 2000. "Searching for participatory approaches : findings of the Yunnan PRA Network." *PLA Notes* 37, February 2000.
- Lu, Yiyi. 2005. *Environmental Civil Society and Governance in China*. Chatham House.
<http://www.chathamhouse.org.uk/index.php?id=272>.
- Luo, Peng, Xu Jianchu, and Pei Shengji. 2000. "Livestock & Conservation in Northwestern Mountain Areas of Yunnan : A Case from Laojunshan Mountain, Lijiang." In *Links between Cultures and*

- Biodiversity: Proceedings of the Cultures and Biodiversity Congress 2000, 20-30 July 2000, Yunnan, P.R. China*, edited by Xu Jianchu, pp.461-472. Kunming: Yunnan Science and Technology Press.
- Miao, Guangping and R. A. West. 2004. "Chinese collective forestlands : contributions and constraints." *International Forestry Review* 6 (3-4), pp.282-298.
- National Bureau of Statistics. 2004. "Poverty Statistics in China." National Bureau of Statistics, China.
- Norton, Ed. 2000. "The Yunnan Great Rivers Project." In *Links between Cultures and Biodiversity : Proceedings of the Cultures and Biodiversity Congress 2000, 20-30 July 2000, Yunnan, P.R. China*, edited by Xu Jianchu, pp.52-56. Kunmin, China : Yunnan Science and Technology Press.
- Ou, Xiaokun. 2003. "The Yunnan Great Rivers Project." *China Environment Series* 5 : 74-76.
- Qian, Jie and Xu Jianchu. 2004. *State Simplification and Access Issues on Farming Land*. Center for Biodiversity and Indigenous Knowledge, Kunming, China.
- Ravallion, Martin and Shaohua Chen. 2004. *China's (Uneven) Progress Against Poverty*. World Bank Policy Research Working Paper 3408. World Bank, Washington D.C.
- Rozelle, Scott, Jikun Huang, Syed Arif Husain, Aaron Zazueta. 2000. *China: From Afforestation to Poverty Alleviation. Evaluation Country Case Study Series*. Washington D.C. : World Bank Operations Evaluation Department.
- Skippington, Cathy. 2006. "Protecting Nature and Developing Tourism in China's Three Parallel Rivers World Heritage Site."
<http://www.iucn.org/themes/WCPA/newsbulletins/webstories/shangri-la.htm>
- Solenne, Taveau and Wang Wei. 2005. *Value of Forest Resources in a Miao Community of Jinduo Natural Village, Yunlong County, Yunnan Province*. Center for Biodiversity and Indigenous Knowledge, Kunming, China.
- Sturgeon, Janet C. "Post-socialist Property Rights for Akha in China: What is at Stake?" *Conservation & Society*, 2, 1 (2004).
- Su, Yufang. 2003. *Building Collective Tenure for Sustainable Forest Management in A Multi-Ethnic Community: A Case Study in Taohua Administrative Village of Lijiang, Yunnan Province, China*.
- Uchida, Emi, Xu Jintao, and Scott Rozelle, 2004. "Grain for Green : Cost-Effectiveness and Sustainability of China's Conservation Set-aside Program." *Land Economics*, Vol. 81, No. 2, 247-264.
- Wang, Xuehong and Jeff Bennett. 2006. *Non-Market Environmental Values of the Conversion of Cropland to Forest and Grassland Program (CCFGP) in North China. Sustainable Land Use Change in the North West Provinces of China*. Research Report No.6. Asia Pacific School of Economics and Government. the Australian National University.
- Weyerhaeuser, Horst, Andreas Wilkes, and Fredrich Kahrl. 2005. "Local impacts and responses to regional forest conservation and rehabilitation programs in China's northwest Yunnan province." *Agricultural Systems* 85: 234-253.
- White, Andy, Xiufang Sun, Kerstin Canby, Jintao Xu, Christopher Barr, Eugenia Katsigris, Gary Bull, Christian Cossalter and Sten Nilsson. 2006. *China and the Global Market for Forest Products : Transforming Trade to Benefit Forests and Livelihoods*. Washington, D.C. : Forest

Trends.

- Wilkes, Andreas. 2005. *Forest Resource Governance in an Agro-Pastoralist Community in Northwest Yunnan : "Institutional bricolage" as a way of understanding the role of village autonomy in resource management*. Working Paper No. 12, Center for Biodiversity and Indigenous Knowledge, Kunming, China.
http://www.cbik.org/cbik-en/cbik/our_work/livelihood/idrc.htm
- Winkler, Daniel. 1999. "Forestry, Floods, and Hydroelectricity : China's National Natural Forest Protection Project and Its Impact on Tibetan Areas." *Sinosphere* 3, no.2.
<http://www.chinaenvironment.net/sino/sino5>
- World Bank, 2003. *China: Promoting Growth with Equity, Country Economic Memorandum*. Washington, D.C. : World Bank.
- World Bank Operations Evaluation Department. 2005. *Influential Evaluations: Detailed Case Studies*. Washington, D.C.: World Bank.
- World Resources Institute. 2005. *World Resources 2005: The Wealth of the Poor, Managing Ecosystems to Fight Poverty*. Washington, D.C. : World Resources Institute.
- Wu, Fengshi. 2005. *Double-mobilization: Transnational Advocacy Networks for China's Environment and Public Health*. Ph.D. dissertation, University of Maryland, College Park.
- Xie, C., Zhao, J., Liang, D., Bennett, J., Zhang, L., Dai, G. and Wang, X., 2005. *Livelihood Impacts of the Conversion of Cropland to Forest and Grassland Program. Sustainable Land Use Change in the North West Provinces of China*. Research Report No.3. Asia Pacific School of Economics and Government, the Australian National University.
- Xu, Jianchu. 2002. Decentralization and Accountability in Forest Management : A Trend and Its Policies on "Natural Forest Protection" and "Upland Conversion". Presented at the Conference on Decentralization and the Environment, sponsored by World Resources Institute, 18-22 February, 2002, Bellagio, Italy.
- Xu, Jianchu and Jesse Ribot. 2004. "Decentralization and Accountability in Forest Management : Case From Yunnan, Southwest China." *European Journal of Development Research*, Vol14 (1) : 153-173.
- Xu, Jintao and Thomas A. White. 2002. "Conclusions and Recommendations." In *Implementing the Natural Forest Protection Program and the Sloping Land Conversion Program: Lessons and Policy Recommendations*, edited by Xu Jintao, E. Katsigris, and T. A. White, pp.62-73. CCICED, Beijing, China.
- Xu, Jintao and William Hyde. 2005. "From Centrally Planned Economy to Vigorous Rural Enterprise : China." In *Plantations, Privatization, Poverty and Power. Changing Ownership and Management of State Forests*, edited by Mike Garforth and James Mayers, London : Earthscan.
- Xu, Jintao, E. Katsigris, and T. A. White, Ed. 2002. *Implementing the Natural Forest Protection Program and the Sloping Land Conversion Program: Lessons and Policy Recommendations*. CCICED, Beijing, China.
<http://www.harbour.sfu.ca/dlam/Taskforce/grassfindingindex.html>
<http://www.worldbank.org.cn/English/content/sustain.pdf>

- Xu, Xiuli, and Zuo Ting. 2003. "Implementaion Gap : A Critical Analysis of th County Forest Bureau (CFB) in the Implementation of the Cropland Conversion Program (CCP)." In *Issues of Decentralization and Federation in Forest Governance: Proceedings from the Tenth Workshop on Community-Based Management of Forestlands, June 30 - July 25, 2003*, Co-sponsored by East-West Center Honolulu, Hawaii and Regional Community Forestry Training Center Bangkok, Thailand, pp.26-37.
- Yang, Yuexian. 2001. Impacts and Effectiveness of Logging Bans in Natural Forests: People's Republic of China. In *Forests Out of Bounds: Impacts and Effectiveness of Logging Bans in Natural Forests in Asia-Pacific*. FAO-RAP Publication 2001/08, edited by P. B. Durst, T. R. Waggener, T. Enters and T. L. Cheng. Bangkok: Asia-Pacific Forestry Commission FAO-RAP.
- Yeh, Emily T. 2000. "Forest Claims, Conflicts, and Commodification : The Political Ecology of Tibetan Mushroom-Harvesting Villages in Yunnan Province, China." *China Quarterly* 161 : 212-226.
- Yin, Runsheng, Xu Jintao, Li Zhou, and Liu Can. 2005. "China's Ecological Rehabilitation : The Unprecedented Efforts and Dramatic Impacts of Reforestation and Slope Protection in Western China." *China Environment Series 7* : 17-32.
- Zhang, Peichang, Guofan Shao, Guang Zhao, Dennis C. Le Master, George R. Parker, John B. Dunning Jr. and Qinglin Li. 2000. " China 's Forest Policy for the 21 st Century." *Science* 288 (5474) : 2135-2136.
- Zhang, Ye. 2003. China's Emerging Civil Society. Washington, D.C. : Brookings Institute.
- Zhao, Junchen. 2001. Case Study on Conversion of Farmland to Forest and Grassland in Heqing County, Yunnan Province. CCICED, Beijing, China.
http://www.harbour.sfu.ca/dlam/WorkingGroups/Forestry/Yunnan_edited%20JK_final_1.htm
- Zhao, Yaqiao. 2004. "Sustainable Forestry as an Alternative to the Logging Ban : Findings from Policy Experiments", at the Tenth Biennial Conference of the International Association for the Study of Common Property (IASCP), The Commons in an Age of Global Transition : Challenges, Risks and Opportunities, Hosted by the Instituto de Investigaciones Sociales, Universidad Nacional Autonoma de Mexico, August 9 -13, 2004, Oaxaca, Mexico.
- Zhu, Hai Jiao. 2003. "Upland Reforestation : Examining Participation and Watershed Management : Jiang Jia Qing Village, Yunnan Province, China." In *Issues of Decentralization and Federation in Forest Governance: Proceedings from the Tenth Workshop on Community-Based Management of Forestlands, June 30 - July 25, 2003*, Co-sponsored by East-West Center Honolulu, Hawaii and Regional Community Forestry Training Center Bangkok, Thailand, pp.38-46..
- Zuo, Ting, Chen Fan, Wang Jianhua, and Song Yuan. 2000. "Preliminary Study on Impacts of Natural Forest Protection Policy in Communities of Xishuangbanna, China." In *Links between Cultures and Biodiversity : Proceedings of the Cultures and Biodiversity Congress 2000, 20-30 July 2000, Yunnan, P.R. China*, pp.123-127. Kunming: Yunnan Science and Technology Press
- Zuo, Ting. 2002. "Implementation of the NFPP." In *Implementing the Natural Forest Protection Program and the Sloping Land Conversion Program: Lessons and Policy Recommendations*, edited by Xu Jintao, E. Katsigris, and T. A. White. CCICED, Beijing, China.

雲南省の農村開発：自然資源、少数民族、および NGOs

赵俊臣，2006，云南省城乡筹统研究

<http://www.xslx.com/bigcncditor/UploadFile/200642971438652.doc>

国家统计局，1999. 关于印发《关于统计上划分城乡的规定（试行）》的通知，国统字〔1999〕114号

<http://www.ln.stats.gov.cn/rkxpc/ffzd/%B3%C7%CF%E7%BB%AE%B7%D6%B9%E6%B6%A8.doc>

大原盛樹，2001，「第5章 中国農村の貧困緩和政策と西部大開発」，大西康雄編『中国の西部大開発——内陸発展戦略の行方』，アジア経済研究所

張英莉，2004・2005. 「新中国の戸籍管理制度（上），（下）」，『埼玉学園大学紀要（経営学部篇）』第4号，第5号